



高津区結核通信

令和4年10月発行 川崎市保健所高津支所
 高津区役所地域みまもり支援センター
 (福祉事務所・保健所支所)
 衛生課 感染症対策係
 TEL:044-861-3332 FAX:044-861-3308

令和3年<令和3年1月～令和3年12月> (速報値)

高津区内 活動性結核患者 13人 (うち喀痰塗抹陽性患者 5人)

別掲) 潜在性結核感染症 11人 ※発症はしておらず内服治療する患者のこと



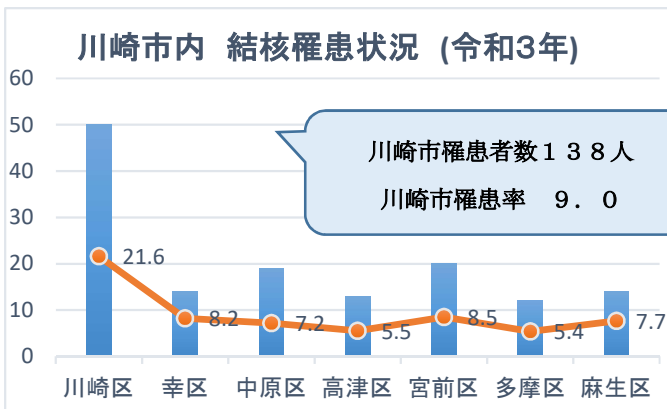
結核は過去の病気ではありません！

結核は、かつて「不治の病」として恐れられていましたが、今では「薬を飲めば治る病気」となりました。

日本では、罹患率が年々減少しています。しかし、現在でも1万人以上の患者が発生し、約2千人が亡くなっています。

コロナ禍で、健康診断や受診を控える人も多く、全体的に結核患者の発見が遅れているという指摘もあります。

高津区の罹患率



令和3年の高津区の結核罹患率(人口10万対)は、5.5で、昨年の7.3よりもさらに減少しています。

一般的には、高齢者の結核患者が多いといわれていますが、高津区内では活動性結核患者のうち65歳未満の患者が6割となっており、若年層の結核患者が多い傾向にあります。

こんな症状があったら…？

結核の症状は、風邪に似ています。

○ タンのからむ咳・微熱・身体のだるさが2週間以上続いている



特に高齢者は、症状が出なくても毎年、胸部X線検査を受けましょう。

高齢者は、特徴的な症状が出にくく、他の病気で受診し、発見されることも多くあります。

早期発見・早期治療が大切です

結核は感染症ですが、早期に発見できれば、重症化して排菌することなく、普段の生活を続けながら通院治療することが可能です。

- ① 早期発見のために、年に1回は胸部レントゲン検査を受けましょう！
- ② 2週間以上続く咳等の気になる症状があったら早めに医療機関を受診しましょう！

～各事業所等での健康管理・健康診断の実施及び報告をお願いいたします～

